

「県立高等学校編成整備計画」の素案に反対し、「八重山商工高等学校定時制課程(夜間部)の存続」を求める要請決議

県立八重山商工高等学校定時制課程は、昭和 44 年設立され本年 43 周年を迎えました。これまで、八重山地区唯一の夜間校として909名の卒業生を輩出し、各界に亘り活躍する輝かしい成果を挙げるとともに、地域においても多大な貢献を果たして参りました。

しかしながら、去る12月18日県教育庁から、八重山商工高等学校定時制の再編を含む県立高校編成整備計画が示され、2014年度の夜間部募集停止について説明がなされました。

定時制課程(夜間部)は、経済的事情、中学校不登校、学習障害等さまざまな要因で全日制へ進学できない生徒や家庭の受け皿としての役割を果たしています。また、一般社会人の学びの場であり、八重山地区における社会人が、知識、技術を習得するための生涯学習の場として多様的で、その果たす役割は極めて多大なものがあります。学校側が在籍生徒、保護者に対して実施したアンケートの結果、約7割に上がる生徒、保護者が夜間部の商業、工業科の存続を希望しております。

八重山商工高等学校定時制課程は、先島唯一の高校(夜間部)であり経済的に厳しい生徒が多いことから、働きながら学ぶ事のできる定時制課程を存続させることが、本地区の子ども達に学習する場所、機会を保障することに繋がり、その設置意義は極めて大きいものであります。

よって当市議会は、本地区のさまざまな要因で定時制課程を必要とする生徒たちに、学習の場を確保し、離島の生徒たちにも等しく学習の機会が享受されますよう「県立高等学校編成整備計画」の素案に反対し、八重山商工高等学校定時制課程(夜間部)の存続を強く要請いたします。

以上、決議する。

平成23年12月27日

沖縄県石垣市議会

あて先

沖縄県知事、沖縄県議会議長、沖縄県教育長